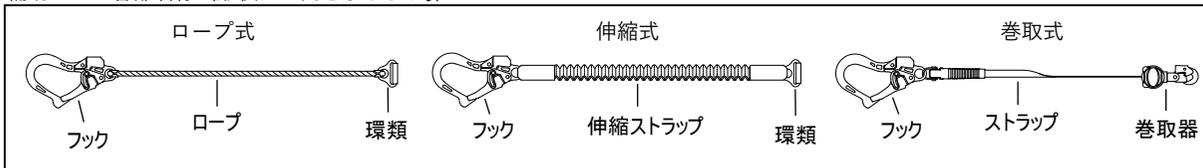


◆用途

この製品は胴ベルト型墜落制止用器具を使用し、フックを掛け替えて移動する時に使用します。移動時において、主となるランヤードを掛け替える前に移動先の取付設備に掛けることによって、絶えず労働者が取付設備と接続された状態を維持するものです。絶対に主ランヤードとしての使用はしないでください。

◆補助ロープ各部名称（形状は一例を示します。）



⚠危険

1. この補助ロープを主ランヤードとして使用することは絶対にしないでください。
2. フックを取付ける対象物は、移動時に外れたり抜けたりするおそれのないもので墜落制止時の衝撃に対し充分耐え得る堅固なものであること。
3. 補助ロープを分解又は改造等は絶対にしないでください。

⚠警告

1. フックを取付ける位置は腰よりもできるだけ高い位置に取付けてください。
2. フックは正しく掛けてください。誤った掛け方をすると墜落時に構造物から外れる危険性があります。
3. ロープ・ストラップ等に溶接の火花・酸・溶剤・高熱の物質及び化学薬品類が触れないようにしてください。
4. 一度でも大きな衝撃を受けた製品は、外観に変化がなくても再度使用しないでください。
5. 補助ロープを投げたり、引きずったりしないでください。故障の原因になります。

保守・保管

1. ロープ・ストラップは日光・熱・雨・薬品等の影響を受けると性能の低下や伸縮する場合があるので前記の影響のない場所で保管してください。又、ストラップは必ず収納して保管してください。
2. 雨等でフックや巻取器・金具類が濡れた場合は乾いた布等で拭きとってください。
3. フックの可動部分やスプリング等に砂や土が付着すると機能が低下し錆付きの原因になります。時々手入れをし注油してください。
4. ロープ・ストラップが濡れたり汚れた場合は、ぬるま湯で洗い陰干しをしてください。ただし、50℃以上になる場所や熱風等での乾燥は絶対にしないでください。
5. 製品の上に角張ったものや、重い物は置かないでください。

点検・廃棄

補助ロープは使用前及び定期的な点検して頂き、下記の基準に達したものは新しいものと取替えてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. ロープ・ストラップ・伸縮ストラップ <ol style="list-style-type: none"> A. キンク（よりもどり）のあるもの。 B. 接続部分のチューブが抜けたり破れたりしているもの。 C. 刃物傷・裂け傷・引っ掛け傷・焼け傷等のあるもの。 D. 摩擦等により毛羽立ち・芯糸等が見えているもの。 E. 縫糸に摩耗・糸切れ・ほつれのあるもの。 F. 薬品が付着し変色しているもの。 G. 形くずれや著く縮んでいるもの。 H. 摩擦防止部品が脱落しているもの。 	<ol style="list-style-type: none"> 2. フック・金具類 <ol style="list-style-type: none"> A. 変形しているもの。 B. 1mm以上の傷、亀裂のあるもの。 C. リベットが損傷したり緩んでいるもの。 D. 動作の悪いもの。 E. パネが折損・脱落しているもの。 F. 全体に錆又は著しい腐食が発生しているもの。 3. 巻取器 <ol style="list-style-type: none"> A. 引き出し・巻取りがスムーズに行えないもの。 B. カバーにヒビ・割れ・変形のあるもの。 C. 取付けネジが脱落しているもの。
---	--

◆交換のめやす（耐用期間）

使い方によって異なりますが、交換のめやすとしては2年ぐらを目途にしてください。ただし、点検項目にしたがって点検をし、廃棄基準に達したものは耐用期間内であっても使用しないで新品と交換してください。

■厚生労働省「墜落制止用器具の規格」

性能	規格値
フックの強さ	11.5kN 以上
ロープ・ストラップの強さ	15.0kN 以上
巻取器の強さ	11.5kN 以上
環類の強さ	11.5kN 以上

【発売元】 株式会社 **ト・ヨ・セフテェ**
 兵庫県三木市別所町巴21-1 三木工場公園
 URL: <http://www.toyo-safety.co.jp>

消費者相談室 **TEL.0794-83-0155**

日本安全帯研究会会員
 【製造元】 **東洋物産工業株式会社**